



NS ユナイテッド海運株式会社

証券コード 9110

2023年度(第1~2四半期) 事業の報告書

(2023年4月1日▶2023年9月30日)

代表取締役社長

山中一馬



株主の皆さまへ

To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

事業環境に関して

当中間期(第2四半期累計期間)における世界経済は、資源高に伴うインフレに対する各国の金融引き締めや、中国経済の不透明感が下押し圧力となりました。外航海運市況のうちドライバルク市況は、中国不動産業界の低迷に伴う鉄鋼原料輸送需要の鈍化懸念から、期中前半には各船型で下落基調となった一方、8月以降は穀物輸送需要増加などの季節要因が、中小型船を中心に市況を押し上げました。VLGC(大型LPG運搬船)市況は、LPGの旺盛な輸送需要を背景に、当中間期を通して高水準を維持しました。内航海運につきましては、鉄鋼原料の輸送量は堅調な一方で、建設業等の輸送需要減少、台風の影響もあり鋼材の輸送量は減少しました。燃料油価格につきましては、当中間期の平均消費価格(全油種)は、トン当たり約541ドルと、前年同期比では約164ドル下落となりました。また、対米ドル相場は期中平均で139.00円と、前年同期比では8円17銭の円安となりました。

当中間期の業績・配当に関して

このような環境下、期中に進行した円安が収益を大きく押し上げたものの、当中間期の連結業績は、売上高1,123億54百万円、営業利益121億94百万円、経常利益138億27百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益109億89百万円となり、前年同期比で減収減益となりました。

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、今年度も中間配当の実施を決定し、1株当たり80円とさせていただきますこととしました。

通期の見通しに関して

2024年3月期の連結業績は、売上高2,042億円、営業利益181億円、経常利益173億円、親会社株主に帰属する当期純利

益139億円を予想しております。また、期末配当につきましては1株当たり100円、中間配当と合わせた年間配当金を1株当たり180円と見込んでおります。なお第3四半期以降の前提条件は、対米ドル円換算率は135.00円、燃料油価格につきましては平均消費価格(全油種)をトン当たり587ドルとしております。

中期経営計画に関して

策定から3年が経過した中期経営計画「FORWARD 2030」では、最終年度である2023年度に営業利益100億円以上、ROE10%以上、Net DER1.0倍以下とする財務目標を掲げておりましたが、2022年度は円安の追い風も受け、営業利益325億円、ROE21.6%、Net DER0.44倍と、2021年度に続き目標を達成することができました。引き続き今年度も上記目標の達成に向けて取り組んでまいります。

また、2050年カーボンニュートラルに向けて当社が直面するリスクと機会を評価し、2030年のありたい姿「収益性と社会性を兼ね備えた企業」に向けた事業戦略を進めております。現在までの取り組みとして、2022年11月に一般財団法人日本海事協会(Class NK)より基本設計承認を取得したアンモニア燃料船の共同プロジェクトに加え、2023年3月には当社で4隻目となる、パーム油工場における廃棄物から精製されたバイオディーゼル燃料による試験航行を実施しました。その他にも、当社グループのNSユニテッドタンカー株式会社が、大阪ガス株式会社による大阪湾・瀬戸内エリアにおけるship to ship方式による船舶向けLNG燃料供給事業に参画します。また、当社は2023年3月に国連グローバル・コンパクト(UNGC)に参加しました。当社はUNGCの提唱する人権・労働・環境・腐敗防止の4分野10原則を支持し、持続可能な社会へ貢献してまいります。

2024年度からの次期中期経営計画においてもこれらESGの取り組みを推進し、2030年のありたい姿「収益性と社会性を兼ね備えた企業」を目指す新たな事業戦略を策定してまいります。

事業別の概況

Operating Results

外航海運事業

■ 売上高

986億31百万円
(前年同期比 16.5%減)

●売上高 (百万円) ●営業利益 (百万円)



■ 営業利益

112億21百万円
(前年同期比 45.0%減)



内航海運事業

■ 売上高

137億27百万円
(前年同期比 8.3%増)

●売上高 (百万円) ●営業利益 (百万円)



■ 営業利益

9億83百万円
(前年同期比 257.8%増)



四半期連結損益計算書 (要旨) (第2四半期連結累計期間)

科目	前第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで		当第2四半期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	
売上高	130,836		112,354	
売上原価	106,819		96,430	
売上総利益	24,016		15,924	
一般管理費	3,343		3,730	
営業利益	20,673		12,194	
営業外収益	4,038		2,325	
営業外費用	583		692	
経常利益	24,128		13,827	
特別利益	78		71	
税金等調整前四半期純利益	24,206		13,898	
法人税等	4,780		2,909	
四半期純利益	19,426		10,989	
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,426		10,989	

売上高



経常利益



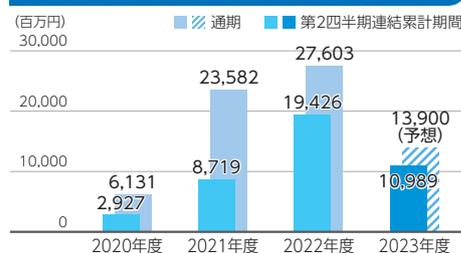
四半期連結貸借対照表 (要旨)

科目	前期末 2023年3月31日現在		当第2四半期末 2023年9月30日現在	
資産の部				
流動資産	94,718	100,501		
固定資産	181,066	182,370		
資産合計	275,784	282,871		
負債の部				
流動負債	50,031	50,354		
固定負債	88,349	88,396		
負債合計	138,379	138,750		
純資産の部				
株主資本	136,129	142,522		
その他の包括利益累計額	1,276	1,599		
純資産合計	137,405	144,122		
負債純資産合計	275,784	282,871		

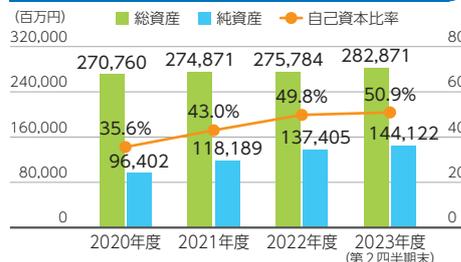
四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

科目	前第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで		当第2四半期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	
営業活動による キャッシュ・フロー	20,316		18,172	
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,489		△8,175	
財務活動による キャッシュ・フロー	△13,061		△6,535	
現金及び現金同等物 に係る換算差額	1,155		754	
現金及び現金 同等物の増減額	6,922		4,216	
現金及び現金 同等物の期首残高	31,215		40,264	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	38,137		44,480	

親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



総資産・純資産・自己資本比率



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
郵送物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	フリーダイヤル0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求) についてのお問合せ先	フリーダイヤル0120-524-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
公告の方法	電子公告 https://www.nsuship.co.jp/ ただし、電子公告を行うことができない 事故その他のやむを得ない事由が発生し た場合は、日本経済新聞に掲載します。

ホームページ

<https://www.nsuship.co.jp/>

ホームページではIR情報をはじめとしたさまざまな情報をタイムリーに発信しております。



統合報告書 NS UNITED REPORT

https://www.nsuship.co.jp/ir/library/nsu_reports/

本報告書は、経営・財務戦略やESGへの取り組みをお伝えすることにより、当社グループの持続的成長へ向けた考え方について、総合的にご理解いただくことを目的としています。2023年度版ではサステナビリティ重要課題 (マテリアリティ) として掲げる安全、環境、技術、人材、ガバナンスについて、各テーマに対する考え方や足元での取り組みなど、経営や現場の社員の視点を通して具体的にご紹介しています。ぜひご覧ください。

